



● 中間検討会 たくさんのご来場ありがとうございました



●新潟県農林水産部 鈴木専技様より、各普及展示圃（3圃場）の生育経過についてご講演いただきました。

8月8日、三条市の県中央場産センターにて「大豆研究会 中間検討会」を開催しました。県内各地よりお客様113名、関係者137名、計250名の参加者にお集まりいただきました。

お忙しい中、遠方からご来場いただいたお客様、大変ありがとうございました。



●大豆コンバイン・汎用遠赤乾燥機・色彩選別機・粗選機など、収穫乾燥調製に関する機械をメインに展示。その他にも大豆関連機械が勢ぞろい！



●(株)クボタの有原顧問より大豆300A達成に向けたお話の後、実証圃にご協力いただいている金塚生産組合様、堺町生産組合様、島田生産組合様に参加いただき、パネルディスカッションを行いました。

● 現地研修会(収穫)のお知らせ

春から取り組んできました大豆実証圃ですが、いよいよ今年最後の現地研修会は、収穫となります。中間検討会のご来場アンケートでは、大豆コンバインに興味をお持ちのお客様が一番多い結果となりました。ぜひ、現地研修会にてクボタ大豆コンバインの良さをご体感ください！

天候や大豆の水分状況によりますので、今回は事前に開催日時を決定することが難しいですが、おおよそ10月10日過ぎを予定しています。

※直前になりましたら、新潟クボタ販売店・営業所よりお知らせさせていただきます。

★実演してみたい機械、興味のある機械は？

- 1位 大豆コンバイン
- 2位 ディスクカルチ
- ” カルチベーター



※中間検討会お客様アンケートより

● 大豆は「根っこ」が大事だ！！～掘ってみないとわからない大豆の生育～

中間検討会の直前（7月28日）、各農業普及指導センターの方と、(株)クボタの有原顧問とともに、新潟クボタソリューションチームも各実証圃の大豆の生育状況を確認しに伺いました。

金塚生産組合様（新発田）



実証内容 アップカットロータリ（耕うん畝立同時播種）

- ・対照区と実証区を比べると、地上部の差はあまり見られないが、根を掘ってみると大きな差があった。実証区では根が非常に深いところまで伸びており、理想的な根系。
- ・対照区では、ロータリカルチによる根の切断跡が見られたが、ディスクカルチを使用した実証区では、根の切断がなく非常に良い。
- ・生育が旺盛で主茎長が長いので、傾きが見られたが、今後さらに根が下へ伸びていけば、倒伏の心配はあまりないと思われる。

堺町生産組合様（長岡）



実証内容 スタブルカルチ（粗耕起） パーチカルハロー（表面砕土）

- ・播種後の雨が少なく、発芽に時間を要したが、その後は回復。
- ・スタブルカルチ+パーチカルハローにより、砕土率が高まり、理想的な団粒構造ができたため、根の生育は良く根量も多かった。
- ・この週、排水できないくらいの雨が降り、根が水に浸かって少し苦しい状態。少し湿害を受けているが、根粒は元気が良い。
- ・7月に入ってかなりイネ科雑草が旺盛になり、その影響で分枝の数が部分的に減ってしまった。

島田生産組合様（上越）



実証内容 サブソイラ（排水対策） パーチカルハロー（表面砕土）

- ・対照区・地域慣行区と比べて、草丈が大きく、分枝数も多い。主茎長が伸びすぎているわけでもなく、理想的な生育相。
- ・2連のサブソイラを5m間隔（慣行の2倍）で入れ、排水対策をしっかりとったことが良かった（排水対策の重要性を再認識）
- ・代表の渡邊さんによると、発芽の段階から対照区より3～4日早く驚いたとのこと。生育がそろっており、昨年と比べて花の付きも良い。
- ・ウコンノメイガの発生が多く、防除を実施した。

★ワンポイント★

● 気象変動に強い大豆＝根がしっかりしているもの。根の張りが浅いと、干ばつや湿害を受けやすい。根が深くしっかり伸びていれば、表面に水があっても掘ってみると根の周りは意外と土が乾いており、湿害を受けていない。

● 梅雨明け後、天気が続いて圃場の表面が乾いてくると、根が下からどんどん水を吸い上げる。そうすることで根が下へ入り込んでいく。

● 上から2番目の花が実を付ける能力が一番弱いので、2番目に良い花がたくさん付いていると良い。

● 分枝の数が多いほど良いが、雑草の多い・少ないで分枝の数に大きな差。

● 開花後、いかに日射量と水を確保するかが重要。

さやに移行させるタンパクを葉に蓄積するこの時期によって、これからのさや付きに差が出てくる。大豆は稲とは違い、収量と品質は比例するので、100粒重が大切になってくる。

上から2番目の花 タマゴ型の根が理想

